



●ブルーモーメント：選ばれし青

ブルーモーメントを象徴する群青色は、日中と同じレイリー散乱を原理とするが、その色彩の純度は薄明特有の「オゾン層による選択的吸收」に依存する。

通常、散乱強度が波長の4乗に反比例するレイリー散乱により日中の空は青く見える。

一方、光路が長大になる日没直前には、青色光が散乱し尽くされ地表には赤色光が残り夕焼けに変化する。

しかし、太陽が地平線下数度に達する常用薄明期、光は高度20~30kmのオゾン層を「接線方向」に通過する。この際、垂直通過時を遙かに凌ぐ膨大な光路長が確保されることで赤色光を特異的に減衰させるチャピュイ吸収の効果が最大化される。

こうして赤色が徹底的に排除され、オゾン層を透過した純度の高い青色光が上空の大気分子で散乱し、地上へ降り注がれる。特に明け方は、夜間の冷却により大気が安定し、塵やエーロゾルが地上へ沈降し、浮遊微粒子による光の白濁（ミー散乱）が抑制されるため、青色光は日没後よりも清冽で、深い群青色となるのである。ブルーモーメントとは、1日の始まりと終わりに垣間見ることができる、選ばれし青の瞬間である。　（幹事：榎 芳栄）

●色彩データ・ライブラリの充実を

日本色彩学会のホームページの中に、「色彩データ・ライブラリ」と命名された、学会員から提供されて、学会員だけが有料で使用できる色彩資料集があります。

しかし、残念なことに、現在までに登録をしているのは、私一人という寂しい状態です。

私自身は、色彩教材を制作する際に、学会員の方々が手軽に利用できるデータとして役だつだろうという考えで、提供しました。

この欄をお読みになった方は、まず、一度覗いてみてください。作るのに時間がかかるカラー図表などもあります。

先般、北畠耀先生が急逝されました。先生の質の高い膨大な色彩データを、生前ご提供頂いていたとしたら、素晴らしい充実したデータライブラリになっていただろうと思う昨今です。

理事会で協議して、データの提供と利用の動きを促進して下されば、将来、学会の収入源に育つこともあるでしょう。また、入会促進のツールになるでしょう。

色彩教材研究会所属の方々は、色彩教材を作る機会も多いことと思います。このライブラリに色彩データを提供することも、お考えください。

(永田泰弘)

●大辞泉ひろいよみ 108一し

色素胞：しきそぼう。色素細胞のうち、大形で樹状の突起をもつもの。黒色素胞など。

色相：しきそう。色合い。色調。彩度・明度とともに、色の三属性の一。有彩色で、赤・黄・青・など他の色と区別するよりどころとなる色の特質。色合い。仏語で肉眼で見ることのできる姿・形。

色相環：しきそうかん。→色環。

色即是空：しきそくぜくう。仏語。この世にある一切の物質的なものは、そのまま空であるということ。「般若心経」にある語。→空即是色。

色体：しきたい。仏語。物質的なもの。

色代：しきだい。しきたいとも。あいさつすること。会釈。お世辞を言うこと。追従。

色代納：しきだいのう。中世、租税を米で納める代わりに麦・大豆・塩・綿布・絹布などで代納すること。雑納。

色沢：しきたく。いろつや。しょくたく。

色調：しきちょう。色の濃淡・明暗・強弱などのぐあい。色合い。

色聴：しきちょう。音の刺激に対して色覚を伴う現象。共感覚の一。

色天：しきてん。→色界。

*大辞泉：小学館発行国語辞典（永田泰弘）